

# 一般社団法人日本シクロクロス競技主催者協会（AJOCC）

## 2020-2021 season 大会開催指標

### （感染症対策に関するガイドライン）

第1版：2020年7月30日

#### （1）AJOCC大会開催指標

- ・日本国内において「緊急事態宣言」が発令されておらず、開催地が属する都道府県が「特定警戒都道府県」に指定されていない状態が、エントリー開始日から大会当日まで継続している場合、その大会をAJOCC公認シクロクロス大会（=カテゴリー昇格・ランキングポイントが有効となる大会）として実施する。
- ・2020年8月1日時点でAJOCCウェブサイトに掲載される大会を2020-2021シーズンAJOCC大会とする。それ以降に追加される大会についてはAJOCC理事会にて審査と判断を行い、柔軟に対応する。
- ・カテゴリー維持基準は、2019-2020シーズンと同じ基準によりシーズン終了後のAJOCCポイントランキングで判断する。大会開催数と実施状況を鑑みて一部または全てのカテゴリー一降格処理を行わない可能性がある。

#### （2）AJOCC大会主催者に求める指標

- ・主催者は大会開催について開催地の属する都道府県あるいは市町村に要項発表前に確認をとること。（以後も自治体の発表を随時把握することに努めること。）
- ・主催者は大会開催中の救急搬送について開催地の属する消防署あるいは市町村へ連絡をしておくこと。
- ・主催者は開催日を開催42日前（概ね6週間前）までに確定させること。日程変更については近隣大会の日程を考慮して策定の上、AJOCC理事会の承認を得ること。
- ・主催者はエントリー開始時に大会中止時の返金の有無と、返金がある場合はその方法を含めて明記すること。中止または延期の際の参加費返金の有無は、各大会の方針に一任する。
- ・来場者に対して大会前14日間の健康状態確認を行うこと。

### (3) 関係者と来場者へ示す行動指針

基本的行動指針として、以下の資料の内容を参照し、遵守に努めること。

『2020年5月14日発表 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>』

○主催者から大会関係者に以下の内容を示すこと。

- ・開催地が属する自治体の方針に従うことが前提になるため、直前であっても大会の延期や中止の可能性があります。
- ・「大会前14日間の検温など健康状態確認」を行ってください。
- ・関係者は会場内でマスク着用をお願いします。移動中や駐車場での個人活動はこの限りではありません。
- ・受付に当たる方は、メガネもしくはフェイスシールド、マスクを着用してください。（主催者が準備することが望ましい。）

○主催者から選手および来場者に以下の内容を示すこと。

- ・開催地が属する自治体の方針に従うことが前提になるため、直前であっても大会の延期や中止の可能性があります。
- ・「大会前14日間の検温など健康状態確認」を行ってください。
- ・選手は会場内でマスク着用をお願いします。移動中や駐車場での個人活動はこの限りではありません。
- ・コース上練習および競技中はマスク不要です。
- ・自宅以外での宿泊は、感染症拡大リスクを十分に考慮し、節度ある行動をお願いします。
- ・会場までの移動においては、他施設に立ち寄ることを極力控えるようお願いします。
- ・選手には練習、試合とも、メガネやアイウェアの着用を推奨します。
- ・唾や痰をはくことを極力行わないでください。
- ・コールアップから、おおむね保温のための上着を脱ぐスタート3分前までは、マスク、タ

オルなどで口元を覆ってください。

- ・ 観客の方も応援ではマスク着用をお願いします。
- ・ 過度な喜びの表現（ハグやハイタッチなど）は控えてください。
- ・ 受付等で示す待機線（ソーシャルディスタンス）に従ってください。
- ・ 以下に該当する方は来場をご遠慮ください。

発熱や咳などの風邪症状がある方、嗅覚や味覚に異常の自覚がある方、新型コロナウイルス感染症の患者と濃厚接触のある方、大会前14日間に入国制限のある国や地域へ渡航した方、帰国後の観察期間を要請されている方

○大会運営時に、以下の準備をおこなうこと。

- ・ レース結果のコミュニケボード掲示は、人が集まることを防止する観点から行わない。WEBでの後日発表などの対応をアナウンスして対応する。
- ・ 受付時間をカテゴリーごとに分けるなど、受付に選手が集中することを避ける。
- ・ より長いコース、ゴール後に選手が滞留しにくいレイアウト、よりも広い招集エリアやピットエリアを設定するために、コース設営で調整する。
- ・ ゴミ箱は設置せず、各自での持ち帰りを促す。
- ・ 身の回り品の消毒できるように、アルコールなど消毒グッズを用意する。
- ・ 水場には殺菌石鹼を用意する。

#### 【参考：参加者の健康確認と誓約書】

主催者は、来場者（選手、観客、大会関係者含む）に健康状態の確認と誓約書の提出を求め、最低レース後2週間は保管してください。（\*1）

誓約書の例として以下を示します。（個人情報取り扱いには十分留意してください。）

- ①名前、住所、連絡先（電話番号）
  - ②大会前日の体温（\*2）
  - ③大会前14日間における以下の事項の有無をチェック
- ア 平熱を超える発熱

- イ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
  - ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - エ 味覚や嗅覚の異常
  - オ 身体が重く感じる、疲れやすいなど
  - カ 新型コロナウイルス感染症が陽性とされたものとの濃厚接触（\*3）
  - キ 同居家族や身近な知人に感染の疑われる方がいるか
  - ク 大会前14日間に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触があるか
- ④大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性者及び濃厚接触者となった場合、速やかに実行委員会に報告することの宣誓。
- ⑤新型コロナウイルス感染症に罹患したことによる損害の補償や責任を実行委員会に求めないことへの宣誓。

（\*1）事後データ提出に備える観点からデジタルデータのまとめが望ましい

（\*2）大会前日の体調確認が重要だが、持参忘れ等の際は当日朝の体温記入を求める

（\*3）厚生労働省アプリ「COCOA」の登録促進含め、その他開催自治体の方針に従うこと